



21世紀の新事業創出を目指して

所長 清藤 純一

新たなる世紀を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は、当センターの事業に関しまして、皆様方から数々のご支援ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。本年も、皆様方とともに明るく、そして元気な鹿児島県を目指して、活発な事業展開を図ってまいりますので、更なるご支援を賜りますようお願いいたします。

昨年を振り返りますと、長引く景気低迷も一部では明るさが見られたものの、全般的には景気回復の兆しを実感できない1年であったように思います。一日も早い本格的な回復軌道に乗ることが待たれるところであります。

このような中で、当センターでは本年も職員の資質を高めながら、研究開発と技術支援を基軸に
業界ニーズへの的確な対応
研究成果・特許の技術移転
産学官交流による研究開発
迅速での的確な技術情報提供
を積極的に推進して、皆様方のお役に立てるよう職員一同一丸となって努力してまいります。

まず、業界ニーズへの的確な対応では、増加する技術相談をはじめ、依頼試験・分析や人材育成など地域のニーズに応じて、迅速で質の高い技術支援に努めます。例えば、昨年食中毒や異物混入など多発し、企業の衛生管理や危機管理が改めてクローズアップされ、当センターにも技術相談が多く持ち込まれましたが、これらにも迅速・的確に対応しているところです。

研究成果・特許等の技術移転では、地域のニーズ・シーズをリアルタイムで把握し、より一層効率的に技術移転できるシステムづくりが必要と考えます。(財)がごしま産業支援センターとの連携強化や併設する知的所有権センターの活用は元より、当センターの自主努力により、本県産業界の

商品化や新分野展開、そして起業家育成へ貢献できることは大変楽しみです。

また、産学官交流による研究開発では、現在、基盤研究・単独研究24テーマに取り組むほか、当センターを中核とする産学官プロジェクト研究8テーマ、企業等との共同研究12テーマに積極的に取り組んでいます。今後も、地域産学官の研究交流・共同研究を推進すると共に、当センターが運営する14研究会の創造的取り組みを積極的に支援し、新商品開発や新分野への展開を促進してまいります。

そして、迅速での的確な技術情報提供では、当センターホームページ上に「技術相談110番」を開設し、更に昨年8月から開始した情報配信サービス「KIT-e news」は500名以上の方に登録を頂き、平均週1回のペースで各種補助金やイベント情報などを配信し好評を得ています。これからも、きめ細かいサービスの充実強化に努めたいと思いますので、皆様方の積極的なご提案もお願いいたします。

また、本ニュースも52号を数えました。この節目の時期に合わせて、内容を一新して、より読みやすく親しみの持てる企画としましたので、これまで以上のご愛読をお願いするとともに、掲載情報を活用していただければ幸いです。

21世紀は、中小企業の時代といっても過言ではありません。当センターは、鹿児島県の新総合基本計画と地域ニーズに的確に対応し、環境・福祉・ITなどの新たな分野への取り組みを強化しつつ、ものづくりの総合支援、創造的研究開発、そしてさらに、商品づくり支援に力点を置き、21世紀の県内産業を担う新分野の事業創出を目指します。

各事業を推進するにあたり、本年も皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。